



令和4年度 新奥会行政視察報告

8月16日 * 西洋野菜の生産について

増加傾向にある外国人居住者向けに、奥州市内での西洋野菜の生産について、一関市南部農業技術開発センターで活動している一関市地域おこし協力隊の山崎さんのお話をお伺いしてきました。そこでは一年間を通して様々な野菜について、どの時期が最も定植や収穫に適しているのか土壌を検査し、最も栽培・生産性に優れているものを普及しているとのことでした。引き続き西洋野菜の栽培・普及について可能性を探ってまいります。



一関市南部農業技術開発センター

令和5年2月1日 * 世田谷区立教育総合センター

現在、新たな子育て環境が求められている中、「世田谷区立教育総合センター」を視察してきました。この施設は子ども、保護者、教員への支援を通じて学校や子ども全体を支える拠点です。①教員の研究・研修。②学校と連携しながら課題解決に取り組む総合的な教育相談。③教育・保育の質、向上を目指す支援。④学校とは異なる教育を体験できる場、などの機能があります。奥州市で実現できるものを取り入れていきたいです。



世田谷区立教育総合センター

2月2日 * 「こども家庭庁」内閣府設立準備室

この4月に「こども家庭庁」が発足します。縦割り行政を廃止し、制度や構造のはざままで取りこぼしていた子ども、問題を抱える子どもや家庭をさまざまな角度から支援することを目指し、子どもの最善の利益を第一として、子どもの視点に立った当事者目線の政策を強力に進めていく、「こどもまんなか社会の実現」を最重要コンセプトとしています。奥州市がこれを受けてどう取り組むべきなのか、引き続き研究していきます。



こども政策の新たな推進体制に関する基本方針(概要)

2月2日 * デジタル田園都市国家構想総合戦略

内閣府の担当者に今後の方針をお聞きしました。具体的に示されたのが、キャッシュレス決済、スマート農業の導入。都会から地方への人の流れを生み出すためのテレワーク環境の充実。オンライン子育て相談、アプリを活用した子育て環境の整備。質の高い教育、医療サービスの提供、などです。この分野は新奥会が先頭に立って取り組んできたものであり、地域の実情にあったものを取り入れていけるよう今後も提言していきます。



デジタル田園都市国家構想総合戦略

新奥会議員活動報告

①趣味 ②尊敬する人 ③好きな食べ物 ④好きな言葉



会長
小野 優 (45歳)
水沢秋葉町
教育厚生常任委員
議会運営 副委員長

2期目の最年少でありながら議会運営委員会の副委員長を仰せつかり、菅原議長が掲げた議長マニフェストの実現・推進に取り組んだ1年でした。商業施設メイプル閉店の話が出たときには、実行計画にある「議員間討議」を素早く実施し、またその様子も公表することができました。この「議会の見える化」については、SNS関係も担当としており、細やかな情報発信に務め、少しでも興味関心が高まるよう投稿内容にも工夫を凝らしてきました。令和5年度には中継システムの更新がありますので、それを活用したオンライン会議の充実化であったり、決算・予算審査連動の政策提言サイクルの定着化を図り、議会がチームとして、しっかりと市民生活の向上の一助となれるように取り組んでまいります。

奥州市議会から岩手県競馬組合議会への派遣

議員にも選出されましたが、直後に職員による不祥事事件が発生しました。その中で競馬組合全体としてコンプライアンス意識の甘さが明るみになり、今後二度とこういうことが起きることがないように注視してまいります。岩手競馬の経営状況は巢ごもり需要もあってここ数年顕著に伸びてきましたが、今後の見通しは楽観視できず、インターネット販売だけに依存しない、競馬場に人を呼び込む体制づくりを提案していきたいと思えます。

常任委員会は引き続き教育厚生常任委員会を担当しましたが、その中では令和3年度に提言した「ICTを活用した学校教育に関する政策提言書」のフォローアップに重点をおいて活動してきました。奥州市における進捗度の調査や他地域への視察を反映させてきたことで、令和5年度には想定より早く、タブレット端末の持ち帰り学習が全市で実施される運びとなりました。2月には児童と保護者をペアで招いた市民と議員との懇談会を開催し、タブレット端末を使っての感想や不安を聞き取り、意見交換しました。この内容を今後の施策に反映させていけるよう努めます。

◆①読書 ②両親 ③カレーライス(飲み物) ④笑う門には福来たる



副会長
高橋 晋 (60歳)
江刺豊田町二丁目
総務常任委員
議会広聴広報 委員長
議会運営委員
市政調査会 幹事
国際リニアコライダー誘致
推進議員連盟 幹事

令和4年3月の市議会議員選挙により、無投票ではありましたが2期目を迎えることになりました。初心を忘れず住民福祉の向上に務めさせていただきます。初代の議会広聴広報委員長を仰せつかり、市民の皆さんの声をお聞きし、より良い奥州市の創造に邁進してまいります。

6月議会一般質問では「**記念館等の統合による総合博物館の設置**」を教育長に質問。水沢の3記念館のみならず市内すべての文化施設の在り方について検討すると答弁を引き出しました。さらには「**ICT技術を活用し民生委員の負担軽減**」を市長に質問。高齢者の見守り支援に音声アシスタントなどの、AI、ICT技術を活用すべきと提言。

12月議会一般質問では「**新工業団地整備に伴う住居等の環境整備**」を市長に質問。従業員の住民登録促進や新住宅団地や道路環境の整備

による渋滞緩和等を訴えました。「**まちづくりのために国立天文台との協定締結**」を市長に質問。研究者と市民が科学技術に親しむ交流会などの取り組みを推進するとの答弁。

令和5年3月議会一般質問では「**文化活動の拠点は必要不可欠**」を市長に質問。江刺体育文化会館は芸術文化活動の拠点。地域文化衰退に繋がるような性急な廃止の結論は出さず、慎重に検討することを強く求めました。「**市全体のランドデザインが必要**」を市長に質問。5地域の特色や強みを活かした商工業・観光・医療・教育などの拠点化を推し進め、市全体のランドデザインを市民に明示し、地域の将来像や目標を共有すべきと提言しました。

このほか、4月17日「花プロジェクト」と題し人首川の堤防沿いの桜を守る活動では、実行委員長として活動を行う事ができました。11月12日、私の母校の江刺第一中学校の創立60周年記念事業実行委員長を仰せつかり、コロナ禍で縮小開催ではありましたが、記念事業・式典を無事開催する事ができました。家庭では3女が嫁ぎ2人目の孫に恵まれました。

◆①大瀧詠一顕彰 ②宮沢賢治 ③こしあんのあんもち ④有言実行

新奥会議員活動報告

①趣味 ②尊敬する人 ③好きな食べ物 ④好きな言葉



幹事
及川 春樹 (53歳)
水沢羽田町字明正
産業経済常任委員
議会改革検討 委員長
市政調査会 幹事
国際リニアコライダー誘致
推進議員連盟 幹事長
奥州市金ケ崎行政事務組合議会議員

新型コロナ感染症の発生から3年余りが経ちました。政府は、新型コロナウイルスの感染法上の分類を5月8日より、危険度が高いとされている2類から季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げると決めました。

またマスクの着用は3月13日以降は原則として「個人の判断にゆだねる」となりました。皆さんもマスクを着けていない人を見かける機会が増えてきているかと思いますが、このような理由です。

少しずつ日常生活が戻りつつありますが、年度が変わる時期で人の往来が多くなる時期でもあり、油断せず、またインフルエンザも流行中の様ですので、周りの方への配慮も忘れないようにしましょう。早く皆さんが健康的に過ごせる日常に戻れますように節に願うところです。

長らく懸念されていた新小谷木橋東側交差点

に、信号機が年末までに設置されることが決まりました。通学路・通勤路として心配されている場所ですが、設置が決まりホッとしているところです。設置までは半年以上ありますので、こども達には今一度安全確認の大切さをお伝えくださればと思います。

また、これまで北上川無堤防地域から要望が出されていた地区で、昨年秋に県河川国道事務所の堤防計画の説明会がありました。地域の皆さんも、やっと進むと期待しているものと思います。期成同盟会や多くの方々の気持ちがやっと実を結んだと思っています。まだ計画が示されていない場所もありますが、これまでと同様に努めてまいりたいと思います。

一般質問は以下のように致しました。

2月定例会「市民合意プロセスについて」

①「市民参画と合意形成について」②「工業振興ビジョン策定について」
また奥州金ケ崎行政事務組合議会議員として、2月議会において「消防施設整備計画について」

①「江刺工業団地への整備計画について」②「人員配置について」

◆①スパナ握り ②祖父、父 ③スイカ ④百忍無憂、鏝魂



幹事
佐藤 正典 (56歳)
水沢真城字垣ノ内
総務常任委員
議会改革検討委員
市政調査会幹事
奥州市金ケ崎行政事務組合議会議員

私は強くなりたいと空手を30年以上続けてきました。長く続けて分かった事は、理念が無ければ、ただの乱暴者であると言う事です。気がつけば当たり前で、だからどうしたと言われると思いますが、私はこの大切な事を学校でも社会からも誰からも学ばませんでした。理念が無ければ東大を卒業しても知識をひけらかす、ただの嫌味な人間です。理念が無ければ億万長者になっても、満ち足りません。物事に対する根本的な考え方が無かったり、取り組む理念が間違っていれば、最終目的である幸せにたどり着けません。何の為に勉強するのか？何の為に働くか？何の為に結婚するのか？何の為に子育てをするのか？何の為に老いるのか？そして何の為に生きるか？そこに理念が無く、自分中心に考えるから他人を恐れ、罵り、憎み、満ち足りず、悩み、争い、奪い合いになるので

あって、しっかりした理念を持つ事が、全ての問題解決に繋がると考えます。それには他人を思いやる利他の精神の涵養が大切だと考えます。人の為に生きるという考え方に出会い、私自身は他人を罵らなくなり、自分の為に争わなくなりました。人の為に生きる事で幸せが何倍にもなって自分に帰ってくる事を議員として皆様に伝えたいと考えています。

さて、議員になって一番驚いた事が二つあります。一つは議員同士の議員間討議を先輩議員の皆様が今まで全くされてこなかった事。会派を超え諸問題を議員同士で話し合いをしていない。これでは一致点が見いだせず問題解決出来ません。二つ目に議場の傍聴席に傍聴者が誰もいない事。議会に関心が無い、これでは投票率が低くて当たり前です。そして議員になっておめでとうではありません。責任重大です。メイプル・新病院建設・高齢化・少子化・担い手不足・教育・農業・空き家問題等々、問題が山積みで、未だ何ひとつ解決していません。議員になったからと私は万歳はしません。公約が果たせた時、皆様は幸せになった時、万歳はするものではないでしょうか。

◆①旅行 ②青山繁治、後藤新平 ③おはぎ ④利他



幹事
穴戸 直美 (42歳)
水沢東上野町
建設環境常任委員
議会広聴広報委員

新人議員としての1年目は、とにかく緊張の連続でした。全てが初めての経験であり、時間に追われる日々でしたが、右も左も分からないなりに、先輩議員の方々のご指導のもと、何とか無事に務めることができたと思っております。そんな感じでスタートした令和4年度の議員活動ですが、全ての定例会にて一般質問をさせて頂きました。

特に私が力を入れたのは、学校に行けない不登校児童生徒への対応についてです。コロナの影響もあり加速した不登校児童生徒(小中学生)は全国で244,940名にもものぼり、岩手県においても2,270名と過去最多を記録しました。奥州市でも150名もいます。(令和3年度調査)不登校になる原因は人それぞれですが、それでも学ぶ権利は同じく与えられなければなりません。学校に行けないこども達だけが取り残される教

育ではいけません。安心して学べる環境づくりが重要なのです。

そこで私は不登校支援として適応指導教室フロンティア奥州の機能拡充、ICTの活用によるギガスクール構想、こどもの居場所づくり、そして教育機会確保法の普及啓発をメインに一般質問をしてきました。その甲斐もあって、教育委員会では学校に通うことを目標とするのではなく、全ての不登校児童に対する学びの保障とあわせ「学び」だけではなく、様々な人と関わる事や社会性を見つけることも重要であるとして、しっかりと対応していくことを約束してくれました。

また、その他にも若者が活躍できる持続可能なまちづくりや、産前産後のサポートについても取り組む一方で、建設環境委員として立地適正化計画における魅力ある街づくりを目指してきました。現在、行政では計れない民間の知恵を取り入れるべきと働き掛けています。いずれ少子高齢化時代にあって、高齢者の皆さんが元気に暮らすためにも、奥州市の宝物であるこども達や次世代を担う若者たちが、一生住み続けたいと思う魅力ある奥州市にしていく必要があります。そのためにも約束して頂いたことが反故にならないよう引き続き取り組んでいきます。

◆①赤ワインの飲み比べ ②大谷翔平 ③ラーメン ④為せば成る

編集を終えて

新たな任期を迎え、一年が経過しました。我が「新奥会」は、新人議員として、佐藤正典議員、穴戸直美議員の2名を迎え、改選当初は6名の会派構成でしたが、加藤清議員を副議長に送り出したので、5名の議員で活動しています。

メイプルの今後の問題、新病院建設の方向性等、課題は山積していますが、市民の皆様より良い暮らしを目指して、新しい市長の市政運営を質してまいります。市民の皆様の声をよくお聞きし、より良い奥州市の発展を目指して頑張ってください。引き続きご支援のほどよろしくお願い致します。



会報Vol.1
「私たちの地域医療の今日と明日」



会報Vol.2
「奥州市の財政の今後」



会報Vol.3
「雪害被害報告」



会報Vol.4
「4年間を振り返って」